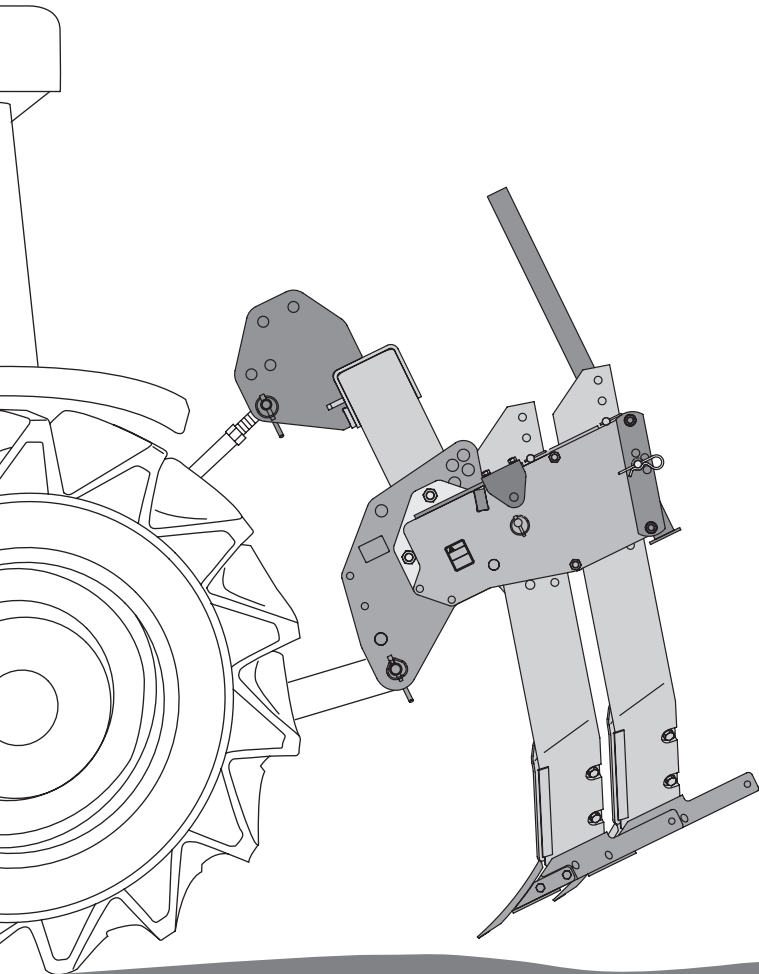


ニプロ

パラソイラー

NPS シリーズ

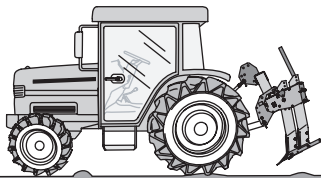
- ◎ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、使用後は大切に保管してください。
- ◎取扱説明書は、必ず使用される方へお渡しください。



Niplo

取扱説明書

- 1 安全について
- 2 概要と各部の名称
- 3 取付ける前に
- 4 取付けについて
- 5 調整について
- 6 後装作業機との連結
- 7 移動・ほ場への出入りと作業
- 8 取外しについて
- 9 保守・点検
- 10 格納について
- 11 保証とサービスについて
- 12 用語と解説



はじめに

このたびは、ニプロパラソイラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の取扱方法や操作手順、使用上の注意事項等を説明したものです。ご使用前に必ずよく読み十分理解されてから、正しくお取扱ください。

使用目的・用途について

- 本パラソイラー（以下作業機と記す）は、トラクタに取付け、畑での耕起に使用してください。使用目的以外の作業には、決して使用しないでください。使用目的以外の作業で故障した場合は、保証の対象になりません。
- 傷害の発生を避けるため、使用目的以外の使用やこの取扱説明書に述べている以外の運転・保守作業はおやめください。

国外への持ち出し（輸出）について

- 本作業機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。本作業機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

安全対策について

- 当社は、本作業機に関する危険をすべて予測することができません。また、取扱説明書や警告ラベルでその危険をすべて伝えることができません。したがって、作業機の運転、保守作業については、一般的に求められる安全対策の配慮が必要です。
- 日本語を母国語としない人が本作業機を取扱う場合は、お客様において取扱者に対して取扱指導および安全指導を実施してください。
更に、取扱者の母国語で、警告ラベル記載文言に相当する文言を貼付・記載してください。
- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「1.3 安全に作業をするために」（2 ページ）を記載しています。ご使用前に必ず読み、理解してください。

廃棄処理に関する注意事項

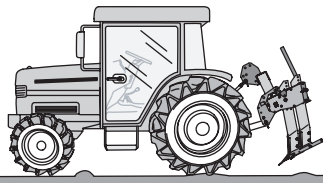
- 本作業機や消耗部品の廃棄については、各地方の条例に従ってください。

本書の取扱いおよびお問い合わせ

- この取扱説明書は、当社の著作物です。無断でこの取扱説明書のすべて、もしくは部分的に関わらず、当社の同意なしに複写・複製をすることを禁じます。
- 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。そのような場合には、本書の内容およびイラスト等の一部が本作業機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- お読みになった後は、必ず作業機の近くに保管し、必要になった時に読めるようにしてください。
- 作業機を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を作業機に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、速やかにお買い上げいただきました購入先へご注文ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただきました購入先へご相談ください。

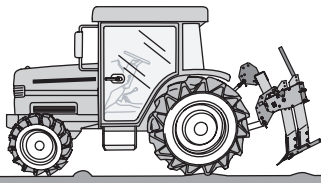
型式と区分について

- この取扱説明書では、型式・区分の異なる作業機を併記しています。
お買い上げいただいた作業機の型式・区分を、作業機に貼付してあるネームプレートで確認し（「1.5 注意銘板とその他のラベルの種類と位置」（11 ページ）を参照）、該当箇所をお読みください。



目次

はじめに	i	5.5 耕深調整	20
目次	1	5.5.1 ナイフの上下調整	20
		5.5.2 ウィングの調整 (オプション)	22
		5.5.3 転圧輪の上下調整 (K仕様のみ)	22
		5.6 地上高が不足する場合	23
1 安全について		6 後装作業機との連結	
1.1 警告文の定義	2	6.1 連結のしかた	23
1.2 その他の注意補足等	2	6.2 ジョイントの取付け	25
1.3 安全に作業をするために	2	6.2.1 切断方法	27
1.3.1 一般的な注意事項	2	6.3 下限規制の調整	27
1.3.2 取付け・取外しの注意事項	4	6.4 上限規制の調整 (W仕様のみ)	28
1.3.3 移動・作業時の注意事項	5	7 移動・ほ場への出入りと作業	
1.3.4 保守・点検・調整時の注意事項	8	7.1 移動のしかた	28
1.3.5 格納時の注意事項	9	7.2 ほ場への出入り	29
1.4 警告ラベルの種類と位置	10	7.3 作業のしかた	30
1.5 注意銘板とその他のラベルの種類と位置	11	8 取外しについて	
2 概要と各部の名称			31
2.1 概要	12	9 保守・点検	
2.2 トラクタとの関係	12	9.1 ボルト・ナットのゆるみ点検	33
2.3 主要諸元	13	9.2 消耗部品の交換	33
2.4 各部の名称	14	9.2.1 ナイフ	33
3 取付ける前に		9.2.2 ナイフガード	33
3.1 確認してください	15	9.2.3 先金	33
3.2 3点リンクについて	15	9.2.4 チゼル	34
3.3 特殊3点リンクの場合	15	9.2.5 固定板	34
4 取付けについて		9.2.6 翼固定板 (オプション)	34
4.1 取付けに関する注意	16	9.2.7 フラップ (オプション)	34
4.2 トラクタへの取付け	16	9.2.8 リフター (オプション)	34
5 調整について		10 格納について	
5.1 水平調整	18		35
5.1.1 自動水平装置付トラクタ	18	11 保証とサービスについて	
5.1.2 自動水平装置のないトラクタ	18	11.1 保証について	36
5.2 左右振り調整	19	11.2 アフターサービスについて	36
5.3 最上げ位置の調節	19	11.3 補修部品と供給年限について	36
5.4 前後角度調整	20	12 用語と解説	
5.4.1 トップリンクの取付位置	20		37



1 安全について

1.1 警告文の定義

この取扱説明書で使用している表示および図記号を以下に示します。
危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
表示および図記号の内容をよく理解してから本文を読み、記載事項を守ってください。

◆表示の説明

危険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高い状態を示します。
警告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことがあり得る状態を示します。
注意	その警告文に従わなかった場合、軽傷または中程度の傷害を負うかもしれない状態を示します。

1.2 その他の注意補足等

◆注意補足の説明

重要	その警告文に従わなかった場合、作業機やトラクタの破損、故障のおそれがあるものを示します。
環境	環境保護のために知っておいていただきたいことや、守っていただきたいことを記載しています。
注記	知っておくと役に立つ情報や、便利なこと等を示します。

1.3 安全に作業をするために

ここに記載している警告文を守らないと、死亡・傷害事故や、作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。よく読んで、作業を行う場合は十分注意してください。

1.3.1 一般的な注意事項

警告	
こんなときは運転しない	
<ul style="list-style-type: none"> ● 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき ● 酒を飲んだとき ● 妊娠しているとき ● 年少者や運転の未熟な人 	
【守らないと】傷害事故をまねくおそれがあります。	



⚠ 警告

作業に適した服装をする

ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。

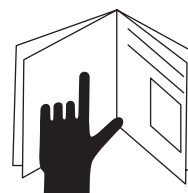
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



本作業機を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、必ず使用前に取扱説明書を読むように指導してください。

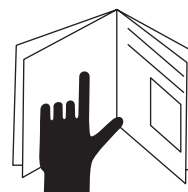
【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



本作業機を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

本作業機と一緒に取扱説明書を渡し、必ず読むように指導してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



作業機の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象になりません。

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

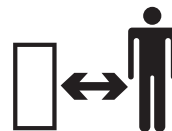
【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



トラクタと作業機の周りに人（特に子供）を近づけない

トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



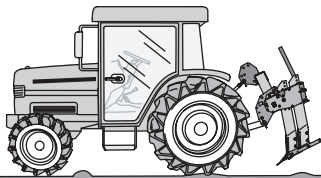
重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、前輪荷重が全重の25%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。

（適正な前輪荷重は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪荷重となるようにしてください。）

【守らないと】傷害事故や作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。





⚠ 注意

公道の走行は作業機取付け禁止

トラクタで公道を走行するときは、必ず作業機を取外してください。

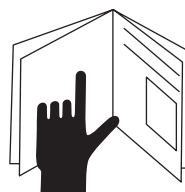
【守らないと】道路運送車両法違反となるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。



トラクタの取扱説明書をよく読む

必ずトラクタの取扱説明書をよく読み、理解してください。

【守らないと】傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



1.3.2 取付け・取外しの注意事項

⚠ 危険

カバー類を元どおりに取付ける

取外したトラクタのPTO軸カバー、後装作業機の入力軸カバーを元どおりに取付けてください。

【守らないと】巻き込まれて死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



⚠ 警告

作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



作業機を取付け・取外しは、平らな場所で行う

平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。

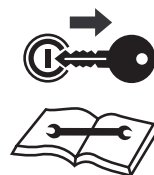
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

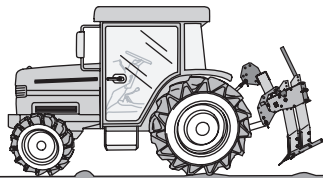


作業機を取付け・取外しは、エンジンを停止して行う

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



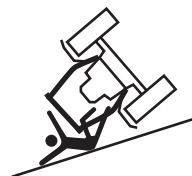


1.3.3 移動・作業時の注意事項

⚠ 警告

急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしない

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



運転者以外の人や物をトラクタや作業機に乗せて運ばない

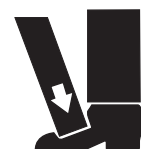
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



周囲の人や物に注意して走行する

トラクタに作業機が付いていると、後ろが長く、横幅が広がります。周囲の人や物に注意して走行してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する

積込み、積降しをするときは、平らで交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かさないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。長さの目安は荷台高さの4倍です。

【守らないと】事故・ケガ・作業機やトラクタの故障をまねくおそれがあります。



あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用する

あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用して、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。長さの目安はあぜや段差の4倍です。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

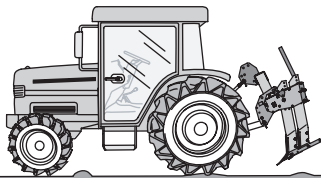


重量バランスの調整をする

急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなります。前輪荷重が全重の25%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。(適正な前輪荷重は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪荷重となるようにしてください。)

【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。





⚠ 警告

両側に溝や傾斜のある農道を通るときは、特に路肩に注意する

軟弱な路肩、草の茂ったところは通らないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



ほ場への出入りは、必ずあぜと直角に行う

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



傾斜地では作業走行しない

作業は平坦な場所で行ってください。傾斜地での作業は、転倒のおそれがあり大変危険です。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



作業機は、絶対に素手で触れたり、足で踏めない

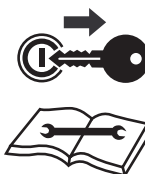
【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機の損傷につながるおそれがあります。

作業機やトラクタに巻き付いた草などを取るときはエンジンを停止する

・トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

・回転部が止まったのを確認してから、巻き付きを外してください。

【守らないと】作業機やトラクタに巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

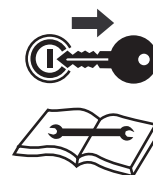


作業機の調整はエンジンを停止して行う

・トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

・回転部が止まったのを確認してから、調整を行ってください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。





⚠ 注意

異常が発生したら、すぐにエンジンを停止し、点検を行う

- ・トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- ・回転部が止まったのを確認してから、点検を行ってください。

【守らないと】他の部分へ損傷がひろがり、事故につながるおそれがあります。



あぜ際での作業は、低速で余裕をもって運転する

あぜに作業機をぶつけないように、低速で余裕をもって運転してください。

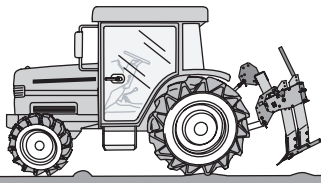
【守らないと】傷害事故や作業機の損傷につながるおそれがあります。



草やゴミを路上に落とさない

作業中や作業後に、草やゴミを路上に落とさないでください。

【守らないと】道路交通法違反になるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。



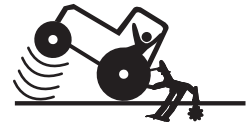
1.3.4 保守・点検・調整時の注意事項

⚠ 警告

保守・点検・調整は平らで安定した場所で行う

- ・交通の邪魔にならない場所で行ってください。
- ・作業機が動いたり、倒れたりしない平らで固い場所で行ってください。
- ・トラクタの車輪には車止めをしてください。

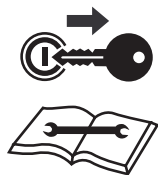
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



保守・点検・調整はエンジンを停止して行う

- ・トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- ・回転部が止まったのを確認してから、保守・点検・調整を行ってください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックする

作業機が下がるのを防止するため、トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



異常を見つけたら、速やかに修理する

変形、損傷等の異常を見つけたら、速やかに修理をしてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



取外したカバー類は元どおりに取付ける

保守・点検・調整で取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

目的に合った工具を正しく使用する

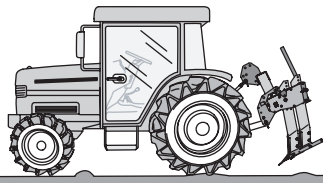
点検・整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。

【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。



保守・点検・調整時は、厚手の手袋を着用し、手を保護する

【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。



1.3.5 格納時の注意事項

⚠ 注意

平らで固い場所に格納する

雨や風があたりず、平らで固い場所を選んでください。

【守らないと】作業機が転倒し傷害事故や作業機の損傷につながります。

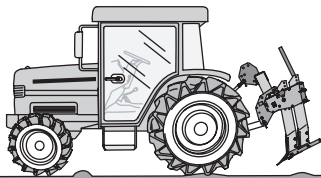


作業機単体の転倒防止をする

必ず作業機のスタンドを所定の高さに調整し、転倒を防止してください。

【守らないと】作業機の転倒等により、傷害事故や作業機の損傷につながります。

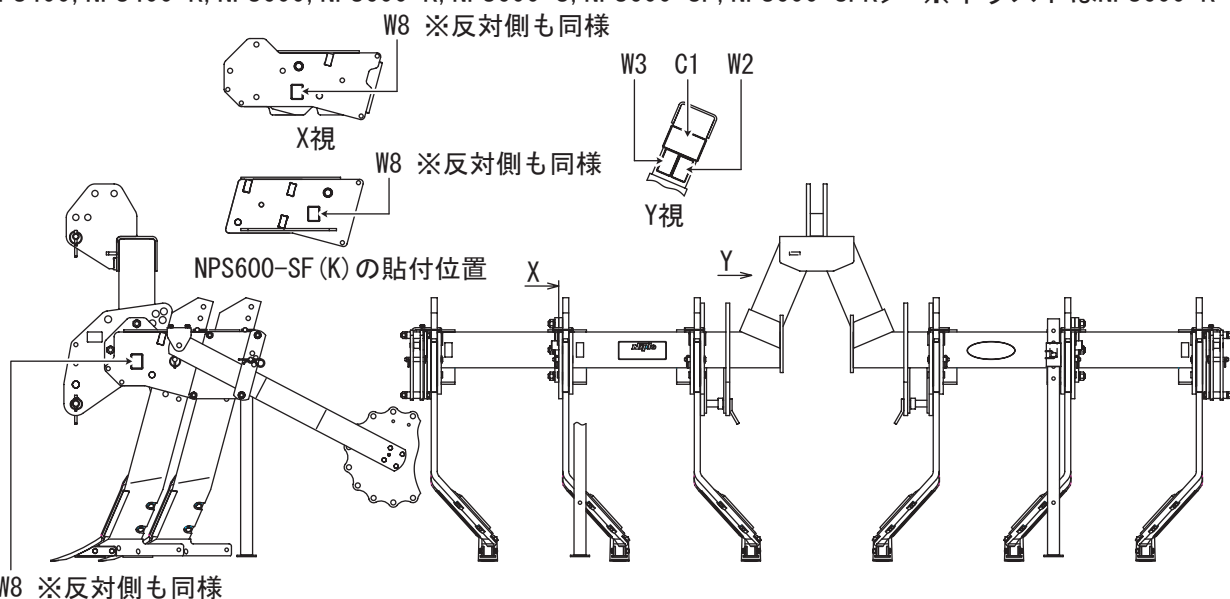




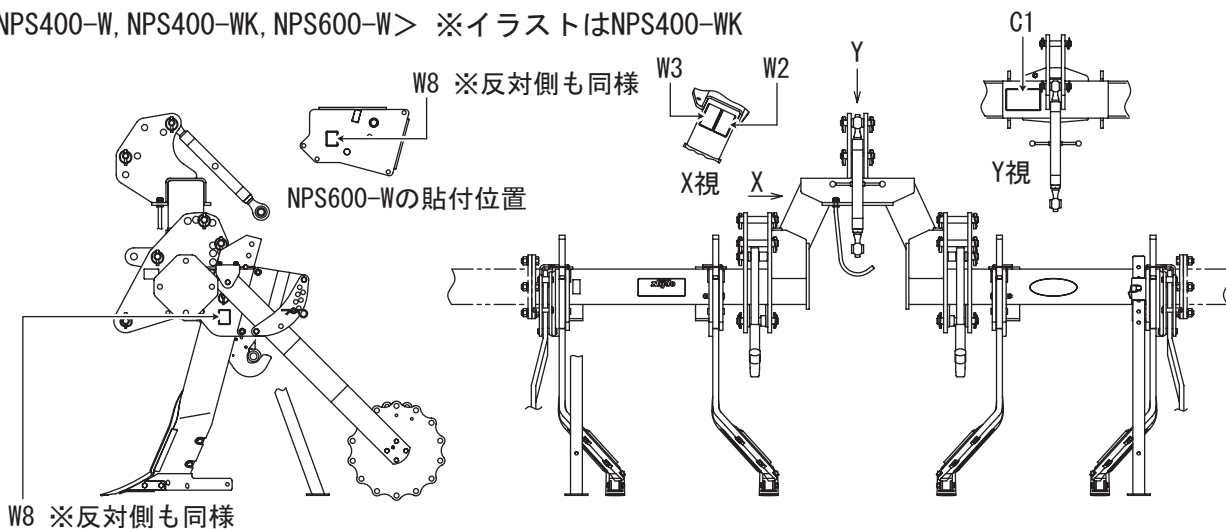
1.4 警告ラベルの種類と位置

- 警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになり安全に作業をしてください。
- 警告ラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしてください。
- 警告ラベルを紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた購入先へ型式および部品番号で注文してください。

<NPS400, NPS400-K, NPS600, NPS600-K, NPS600-S, NPS600-SF, NPS600-SFK> ※イラストはNPS600-K



<NPS400-W, NPS400-WK, NPS600-W> ※イラストはNPS400-WK



W2 8750 317000



W3 8750 326000

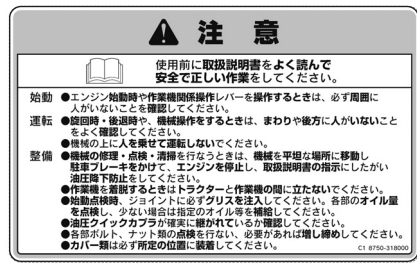


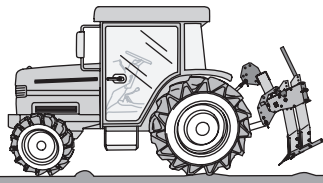
W8 8750 325000



C1

8750 318000

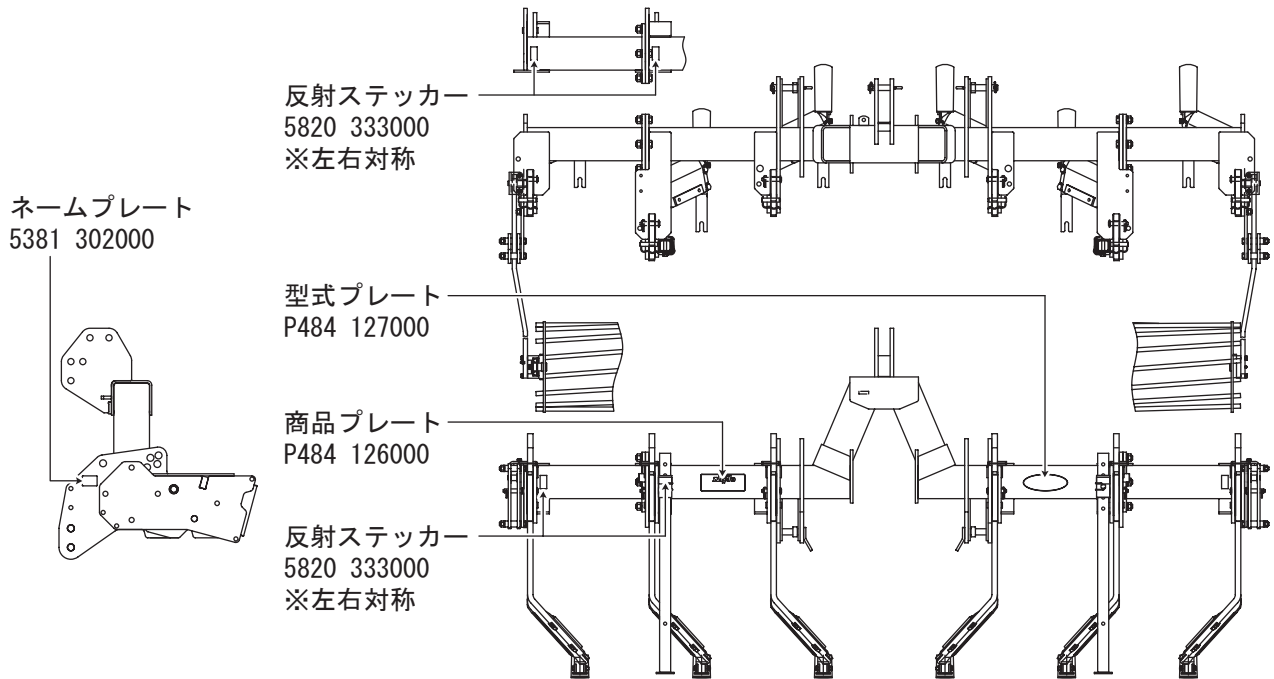




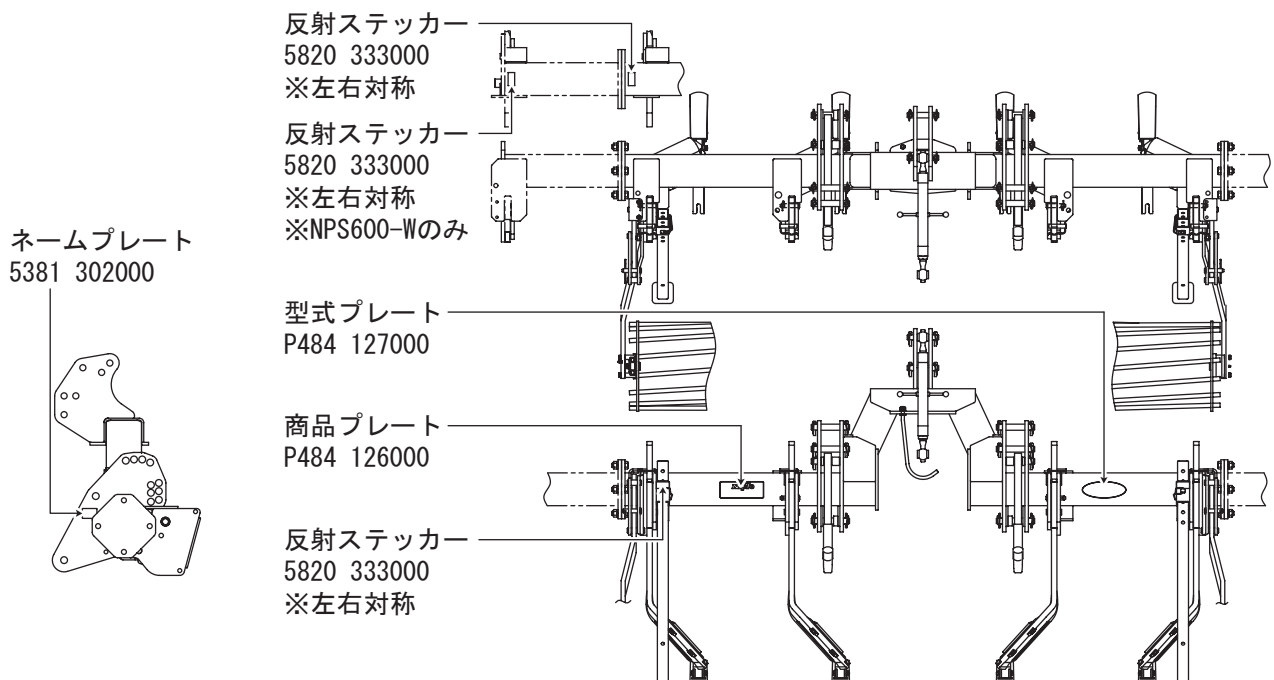
1.5 注意銘板とその他のラベルの種類と位置

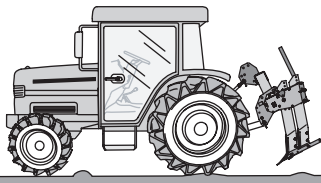
- 注意銘板とその他のラベルは図の位置に貼ってあります。
- 注意銘板とその他のラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしてください。
- 注意銘板とその他のラベルを紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた購入先へ型式および部品番号で注文してください。

<NPS400, NPS400-K, NPS600, NPS600-K, NPS600-S, NPS600-SF, NPS600-SFK> ※イラストはNPS600-K



<NPS400-W, NPS400-WK, NPS600-W> ※イラストはNPS400-WK



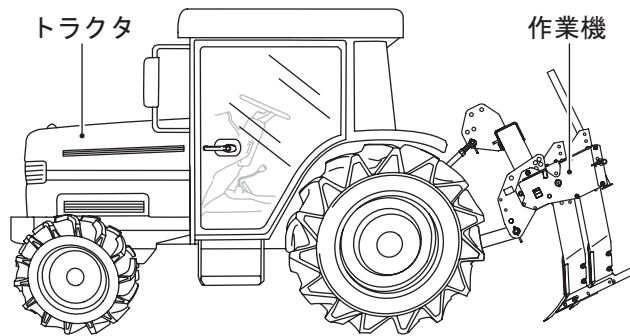


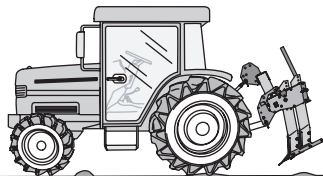
2 概要と各部の名称

2.1 概要

- 本作業機は、畑での耕起に使用してください。
- 本作業機は、「標準3点リンク」で設計しています。他の規格では取付けができません。
- 本作業機は、決められた適応馬力で設計しています。適応トラクタ馬力の範囲内で使用してください。

2.2 トラクタとの関係





2.3 主要諸元

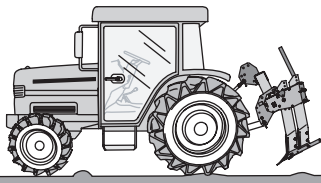
型式・区分		NPS400	NPS400-K	NPS400-W	NPS400-WK
機体寸法	全長(mm)	900	1660	685	1465
	全幅(mm)	2250	2350	2760	
	全高(mm)	1570		1620	
機体質量(kg)		515	645	570	750
適応トラクタ馬力[kW(PS)]		59 (80) ~88 (120)		75 (100) ~112.5 (150)	
装着方法		3点リンク直装 JIS 2		3点リンク直装 JIS 2 (JIS 3 オプション)	
作業能率(分/10a)		6~14		7~16	
ナイフの本数		4			
ナイフの間隔(cm)		55		中央 120、左右 65	
作業幅(cm)		210		250	
作業深さ(cm)		25~50			
作業速度(km/h)		2~5			
転圧輪幅(m)		-	2	-	2.6
耕深調節		ナイフ上下 (6段階) トップリンク伸縮 (転圧輪上下 (4段階) ※K 仕様のみ)		ナイフ上下 (6段階) トップリンク伸縮 (転圧輪上下 (7段階) ※WK 仕様のみ)	

型式・区分		NPS600	NPS600-K	NPS600-S	NPS600-SF	NPS600-SFK	NPS600-W
機体寸法	全長(mm)	900	1660	900	1160	1920	685
	全幅(mm)	3350	3450	3050		3150	3950
	全高(mm)	1570					1620
機体質量(kg)		720	905	710		880	765
適応トラクタ馬力[kW(PS)]		75 (100) ~110 (150)				90 (120) ~112.5 (150)	
装着方法		3点リンク直装 JIS 2				3点リンク直装 JIS 2 (JIS 3 オプション)	
作業能率(分/10a)		6~14				5~11	
ナイフの本数		6					
ナイフの間隔(cm)		55	中央 55、左右 40			中央 120、左右 65	
作業幅(cm)		320	290			380	
作業深さ(cm)		25~50					
作業速度(km/h)		2~5					
転圧輪幅(m)		-	3.1	-	-	2.8	-
耕深調節		ナイフ上下 (6段階) トップリンク伸縮 (転圧輪上下 (4段階) ※K 仕様のみ)				ナイフ上下 (6段階) トップリンク伸縮	

※ 本主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

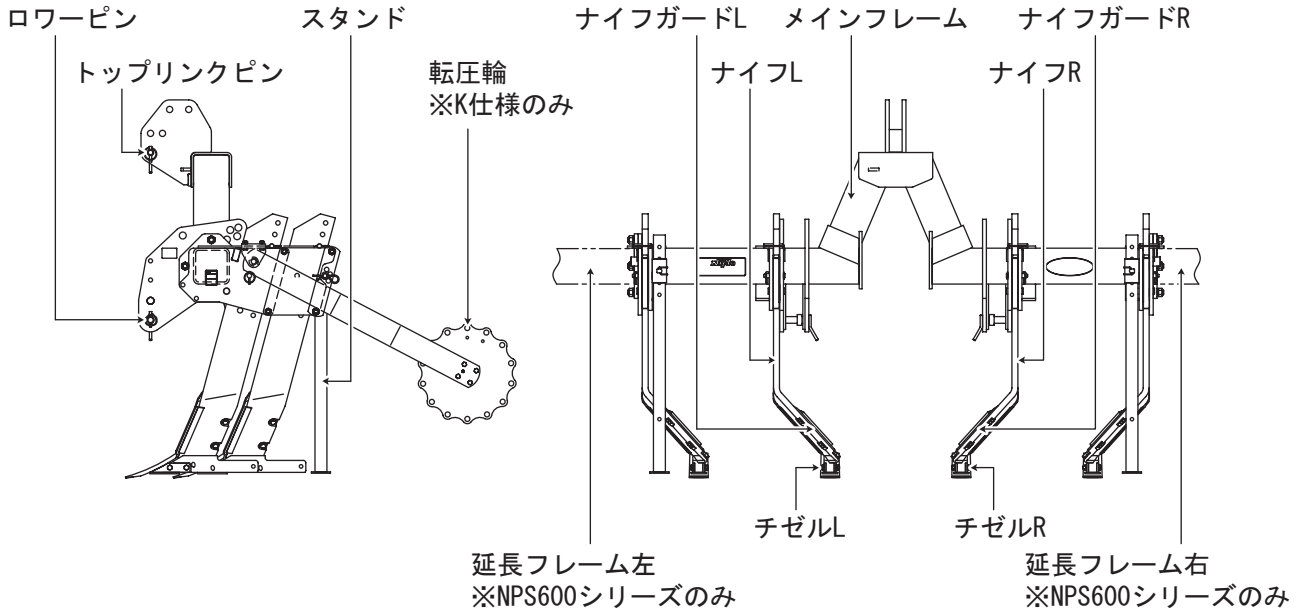
※ 全高はナイフ取付位置 400 mm 設定の数値です。

※ 機体質量にはスタンドを含みます。

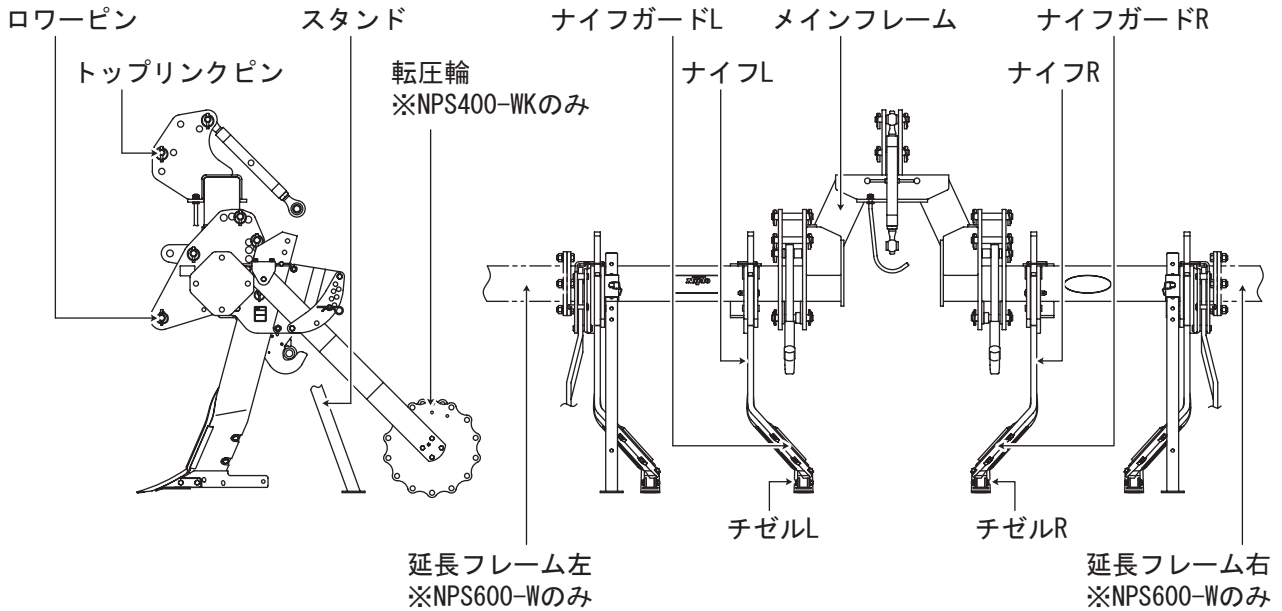


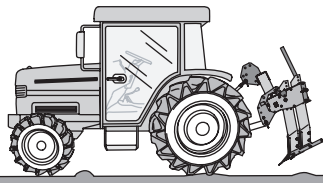
2.4 各部の名称

<NPS400, NPS400-K, NPS600, NPS600-K, NPS600-S, NPS600-SF, NPS600-SFK>



<NPS400-W, NPS400-WK, NPS600-W>





3 取付ける前に

3.1 確認してください

1組ごとに厳重な検査をしたうえで出荷していますが、輸送中の破損、物品の欠品、およびその他の異常の可能性も皆無ではありません。下表の事項も含めて確認してください。

もし、問題があった場合は、お買い上げの購入先へ連絡してください。

確認箇所	確認方法
ご注文の品物かどうか	「1.5 注意銘板とその他のラベルの種類と位置」(11ページ)を参照し、ネームプレートで確認
ネームプレート、警告ラベルが剥がれていないか	「1.4 警告ラベルの種類と位置」(10ページ)、「1.5 注意銘板とその他のラベルの種類と位置」(11ページ)を参照し、目視によるチェック
破損はないか	目視による外観チェック
取扱説明書、保証書	目視によるチェック

3.2 3点リンクについて

作業機の3点リンク規格は、「標準3点リンク」を採用しています。

トラクタの3点リンクも標準3点リンクでないと取付けができません。

3.3 特殊3点リンクの場合

⚠ 注意

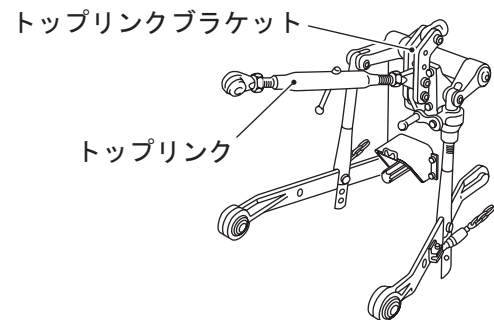
トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

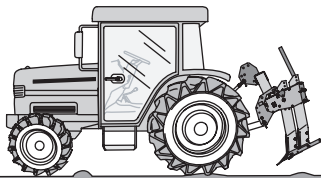
【守らないと】取付けができなかったり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

特殊3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準3点リンク用に交換してください。

注 記

- ・ 両側にネジのついたトップリンクで、長・短の調整のできる長いものを使用してください。





4 取付けについて

4.1 取付けに関する注意

⚠ 警告

- 作業機の下にもぐったり、足を入れないうでください。
- 平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を取付けるときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業機が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、前輪荷重が全重の 25%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。（適正な前輪荷重は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪荷重となるようにしてください。）

【守らないと】傷害事故や作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。

⚠ 注意

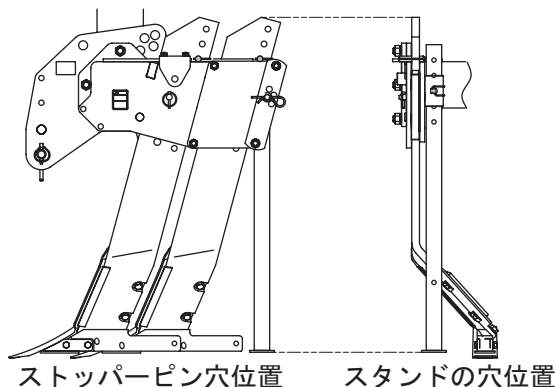
トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】取付けができなかったり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

4.2 トラクタへの取付け

- 1** 作業機のスタンドの穴を、ナイフのストッパーピン穴と同じ位置にあわせ、作業機を安定して自立させます。

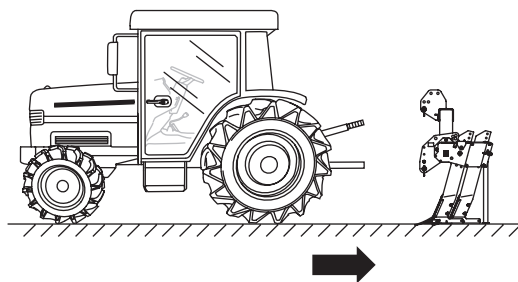
<例>上から 3 番目の穴



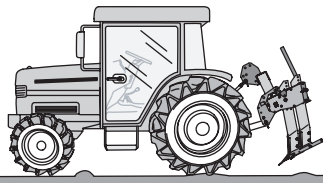
注 記

- ・ ナイフのストッパーピン穴とスタンドの穴の上下位置は対応しています。

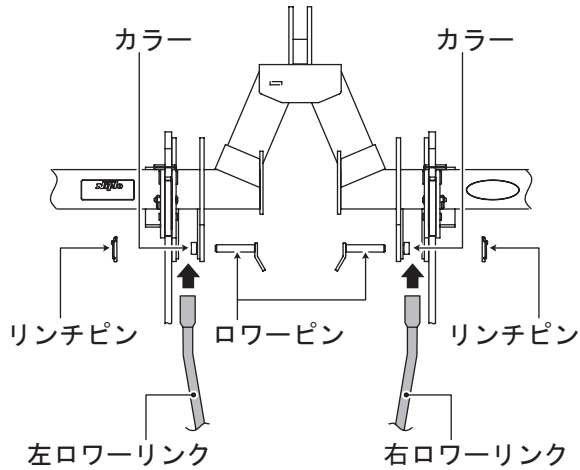
- 2** トラクタのエンジンをかけ、作業機の中心に合わせてまっすぐ後進させます。



- 3** トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業機が携帯します。



- 4** トラクタの左ローリンクを作業機の左ローアームに取付けます。



- (1) ローリンクをローアームに挿入します。
- (2) カラーを取付けます。
- (3) ローピンを差し込みます。
- (4) リンチピンを取付けます。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。
【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

- 5** 左側と同様の手順で、トラクタの右ローリンクを作業機の右ローアームに取付けます。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。
【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

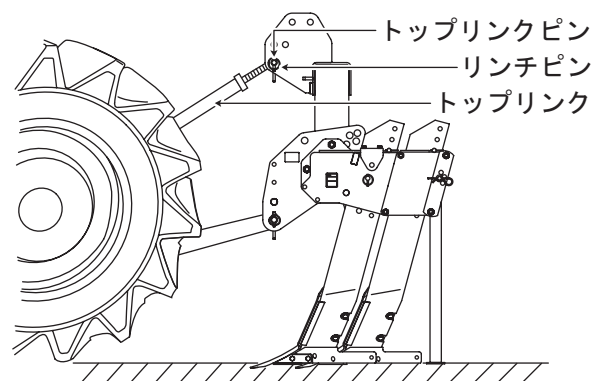
注 記

- ・ 高さが合わないときは、レベリングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調整して取付けてください。

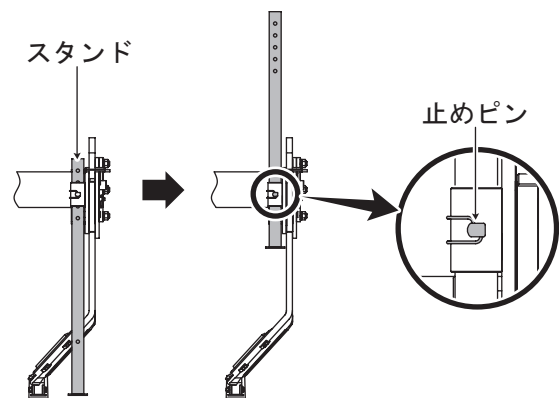
- 6** トップリンク（トラクタ付属）の長さを調整し、トップリンクピンで作業機のマストに取り付け、リンチピンで抜け止めをします。

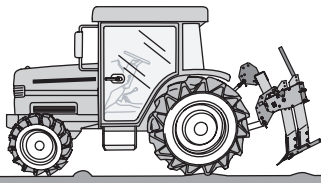
注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。
【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



- 7** スタンドを上を持ち上げて、止めピンで固定します。





5 調整について

⚠ 警告

- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- トラクタとの調整は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を調整するときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

厚手の手袋を着用し、手を保護してください。

【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。

5.1 水平調整

注 記

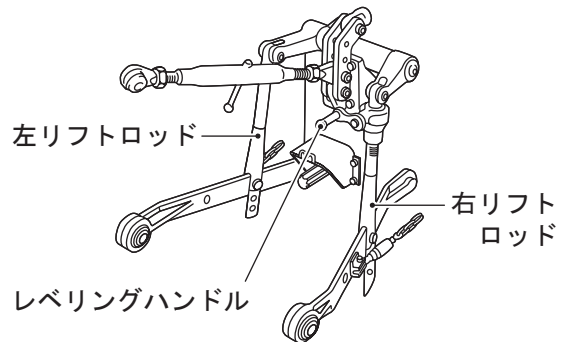
- ・ トラクタの取扱説明書をよく読んでください。
- ・ 作業機の左右がトラクタに対して水平でないと、耕深が片寄るだけでなく、直進性も悪くなります。

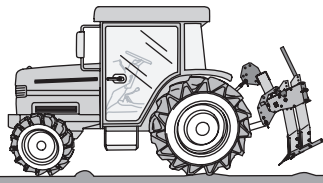
5.1.1 自動水平装置付トラクタ

作業機の左右がトラクタに対して水平になるように調整します。

5.1.2 自動水平装置のないトラクタ

トラクタのレベリングハンドルを回して、右リフトロッドの長さを調整します。

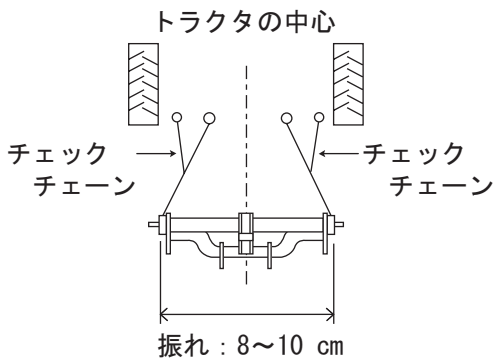




5.2 左右振り調整

作業機が左右に多少振れるように調整します。左右の振れが適正でないと、往復耕時の土の反転や放てきが左右対称にならず、表面や耕盤が凸凹になります。また、トラクタの直進性も悪くなります。

- (1) 次図のように、作業機をトラクタの中心に合わせ、チェックチェーンの張りで後方のナイフが8~10 cm 振れるように調整してください。



- (2) チェックチェーンがトラクタの車輪に当たらないことを確認してください。当たるときは振れ幅を小さくしてください。

5.3 最上げ位置の調節

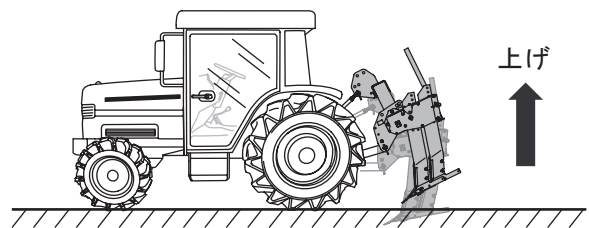
重要

- ・ トラクタによっては、スイッチで最上げまで自動上昇する機種があります。作業機が勢いよく上がるため、トラクタと作業機との間隔を 100 mm 以上開けるように上げ規制をしてください。
- ・ 特にキャビン付きトラクタの場合は、トラクタ背面のガラスを突き上げないように注意してください。

トラクタや作業機の損傷につながります。

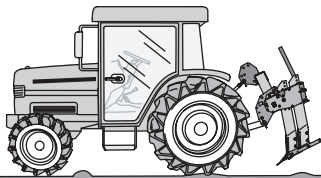
1

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を上げてゆっくり作業機を上げ、振動や異音の出ない位置で作業機を止めます。



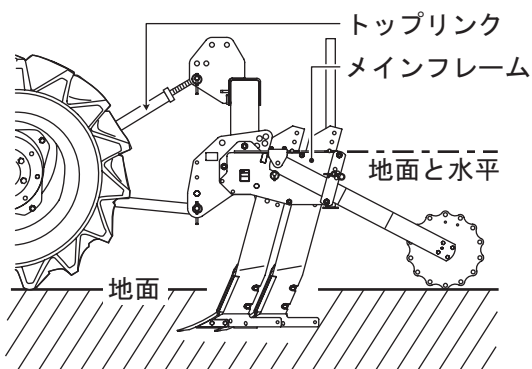
2

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を、上げ規制ストッパーで固定します。



5.4 前後角度調整

作業状態で、メインフレーム上面が水平になるようにトップリンクの長さで調整してください。

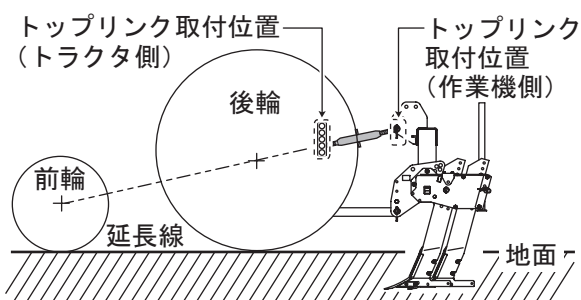


5.4.1 トップリンクの取付位置

トップリンクの取付位置は、トラクタ側に2~5箇所、作業機側に2箇所あります。

作業状態で、トップリンクの延長線が前輪のほぼ中心に向かっていていると、トラクタのけん引力を十分に発揮できると言われています。

次図を参考に取付けてください。



注 記

- ・ 油圧のドラフトコントロールを使用する場合は、トラクタの取扱説明書を参照してください。

5.5 耕深調整

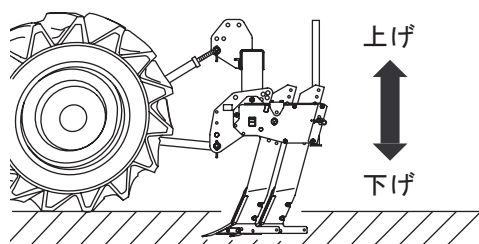
トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）により、作業深さを調整します。

重要

- ・ ナイフの左右および前後の取付位置は、必ず同じ高さに調整してください。
作業が安定せず、消耗部品にも片寄りがあります。

注 記

- ・ トラクタの前輪、後輪がスリップするときは、作業機を少しずつ上げてください。

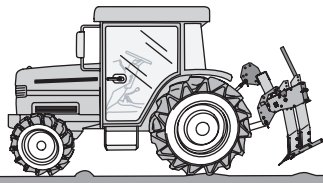


5.5.1 ナイフの上下調整

ナイフの上下調整をすることにより、5 cm 間隔で 6 段階に耕深調整ができます。

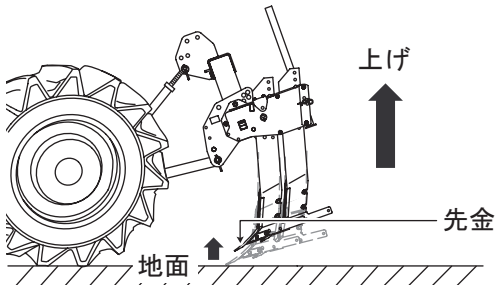
⚠ 注意

ナイフの下に足を入れないでください。
【守らないと】 傷害事故につながるおそれがあります。



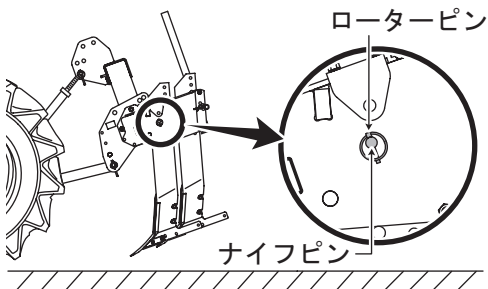
1

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を操作し、先金が地面から浮くまで作業機を持ち上げます。



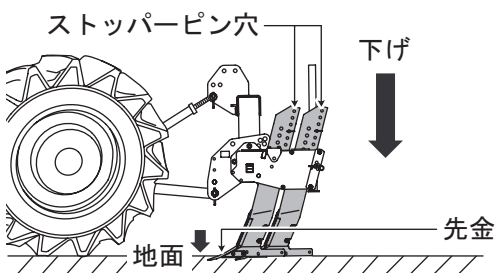
2

すべてのナイフのローターピンを外し、ナイフピンを取外します。



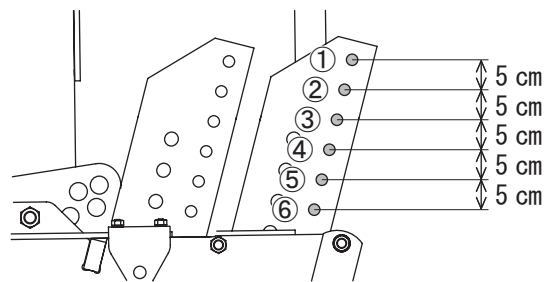
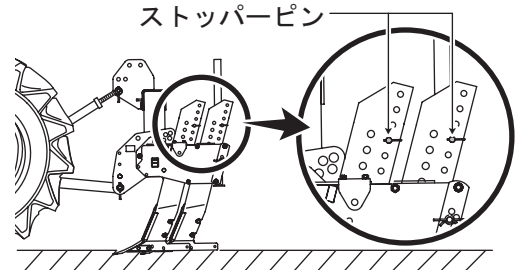
3

先金が地面に着き、ナイフの任意のストッパーピン穴が見えるまで作業機を下げます。



4

すべてのナイフのストッパーピンを外し、任意のストッパーピン穴（①～⑥）に取付けます。

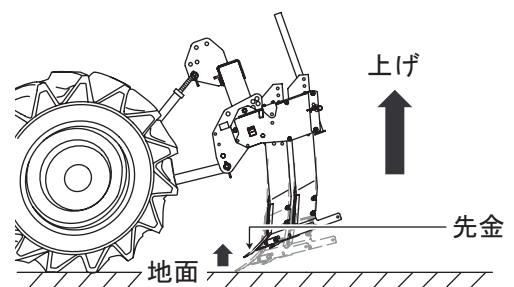


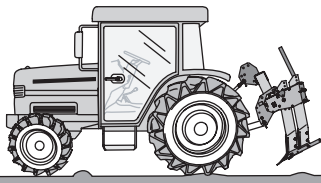
注 記

- ・ ストッパーピンは、作業機の外側から内側に差し込んでください。内側から外側に差し込むと、ローアーム（NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-W 以外はオプション）に干渉します。

5

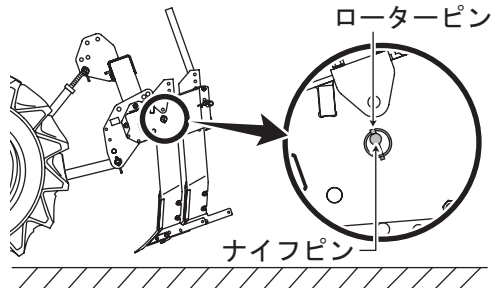
トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を操作し、先金が地面から浮くまで作業機を持ち上げます。





6

で外したナイフピンをナイフピン穴に取付け、ローターピンで抜け止めをします。



注 記

- ・ ナイフピンは、作業機の内側から外側に差し込んでください。外側から内側に差し込むと、ローアーム (NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-W 以外はオプション) に干渉します。
- ・ ナイフのストッパーピン穴とナイフピン穴の上下位置は対応しています。

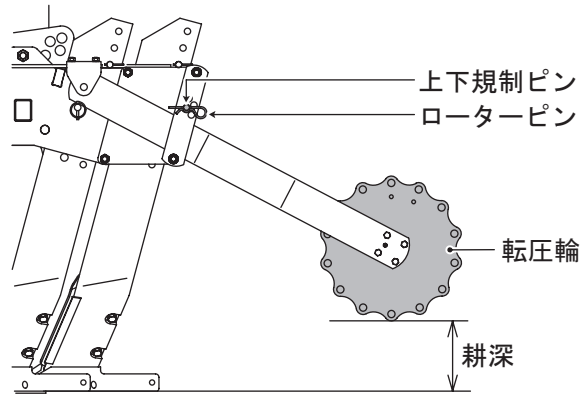
5.5.2 ウィングの調整 (オプション)

ウィングの開き量を調整して、土壌破碎効果の調整ができます。ウィングを開くと破碎効果が上がり、閉じると牽引抵抗を少なくできます。トラクタやほ場の条件に応じて調整してください。

5.5.3 転圧輪の上下調整 (K仕様のみ)

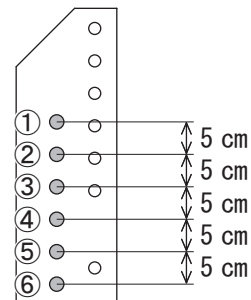
転圧輪を上下に調整することにより、3 cm 間隔で 4 段階 (NPS400-WK は 3~5 cm 間隔で 7 段階) に耕深調整ができます。

上限規制ピンを任意の穴に取付け、ローターピンで抜け止めをします。



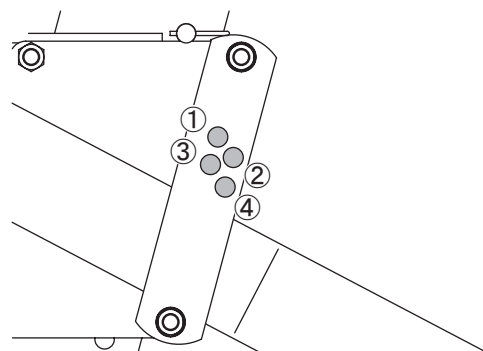
基本設定は、ナイフピン穴が③、転圧輪の上限規制ピン穴が③のとき、耕深 40 cm になります。

■ ナイフピン穴



(深い) ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ (浅い)

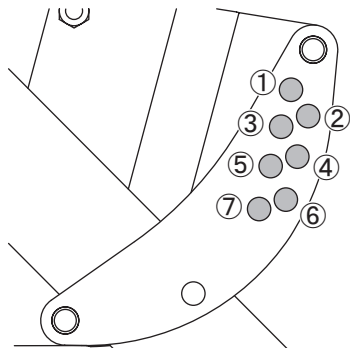
■ 上限規制ピン穴 (NPS400-K, NPS600-K, NPS600-SFK)



(深い) ① → ② → ③ → ④ (浅い)



■ 上限規制ピン穴 (NPS400-WK)

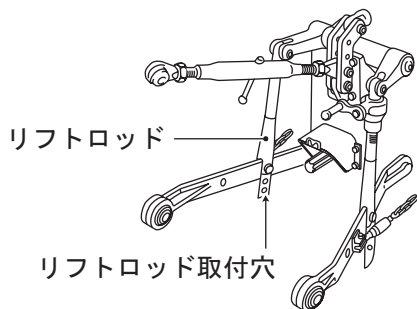


(深い) ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ (浅い)

5.6 地上高が不足する場合

リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して調整してください。

上の穴位置にすると上がり量が増えます。
下の穴位置にすると下がり量が増えます。



6 後装作業機との連結

作業機にヒッチ (NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-W 以外はオプション) を取付けることにより、後装作業機 (ロータリーハローなど) と連結し、耕起、碎土、整地が 1 工程で行えます。

6.1 連結のしかた

⚠ 警告

- 後装作業機の取扱説明書をよく読んでください。
- トラクタの取扱説明書をよく読んでください。
【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

重要

- ・ 後装作業機を、地面から 300 mm 以上持ち上げるときは、PTO の回転を止めてください。
ジョイントを破損する原因になります。

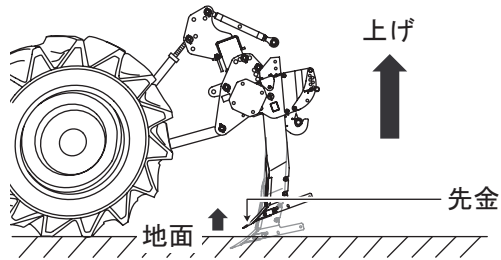
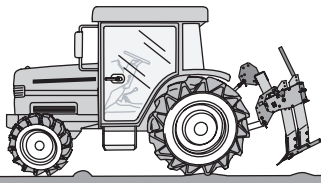
注 記

- ・ 後装作業機のゲージ輪は、作業機のナイフより外側に配置するか、取外してください。
盛り上げた土を押えるようになり、牽引抵抗が増えます。

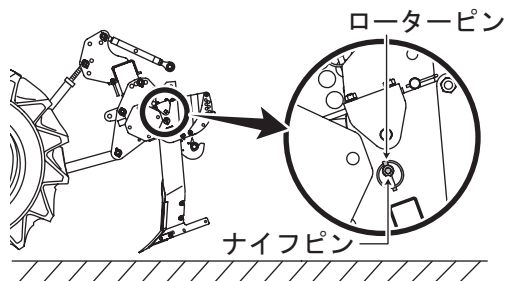
1

トラクタの作業機昇降レバー (油圧レバー) を操作し、先金が地面から浮くまで作業機を持ち上げます。

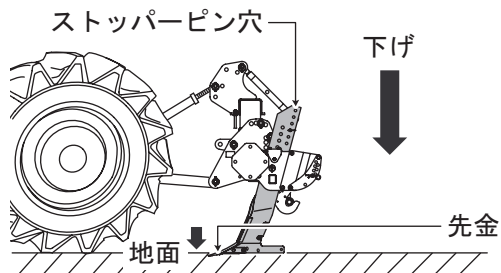




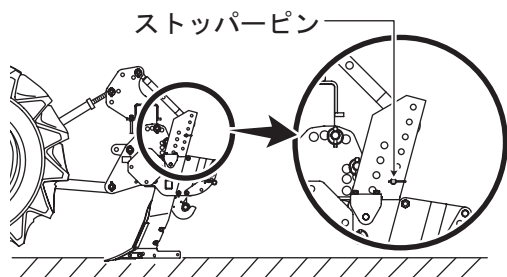
- 2** ローターピンを外してナイフピンを外します。



- 3** 先金が地面に着き、ナイフの一番下のストッパーピン穴が見えるまで作業機を下げます。



- 4** ストッパーピンを外し、一番下のストッパーピン穴に取付けます。



- 5** 後装作業機のヒッチアームに、リンクボールを取付けます。(CAT3-2 (NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-W 以外は CAT2))

- 6** 作業機を後装作業機の中心にあわせ、まっすぐ後進させます。

- 7** 作業機昇降レバー（油圧レバー）を少しずつ上げ、後装作業機のヒッチアームを作業機のローアームのフック部で拾います。



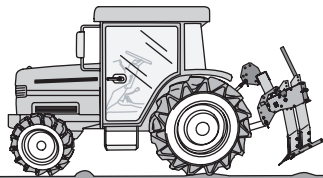
- 8** トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を下げて作業機をゆっくり下げ、下限規制ピンとカラーを任意の穴に取付けます。
 (「6.3 下限規制の調整」(27~28 ページ)を参照してください。)



注 記

- ・ 穴位置は、後で調整できます。

- 9** ストッパーピンを外し、任意のストッパーピン穴に取付けます。



10

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を上げて作業機をゆっくり上げ、後装作業機が水平になる位置でトップリンクを取付けます。



11

ジョイントを取付けます。
（「6.2 ジョイントの取付け」(25～27 ページ) を参照してください。）

12

作業機昇降レバー（油圧レバー）を操作し、先金が地面から浮くまで作業機を持ち上げます。



13

で外したナイフピンをナイフピン穴に取付け、ローターピンで抜け止めをします。

注 記

- ・ ナイフピンは、作業機の内側から外側に差し込んでください。外側から内側に差し込むと、ローアーム (NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-W 以外はオプション) に干渉します。
- ・ ナイフのストッパーピン穴とナイフピン穴の上下位置は対応しています。

6.2 ジョイントの取付け

⚠ 危険

取外したトラクタの PTO 軸カバー、後装作業機の入力軸カバーを元どおりに取付けてください。

【守らないと】巻き込まれて死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

重要

- ・ トラクタの型式に適応した長さのジョイントを使用してください。

長すぎるとトラクタの PTO 軸が作業機の入力軸を突きます。短いと、ジョイントのかみ合いが少なくなり破損する原因になります。

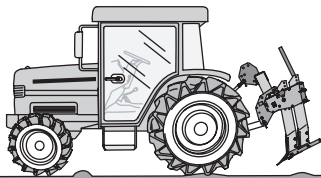
- ・ 必ず広角側（インナー側）をトラクタ側（PTO 軸）にセットしてください。

反対に装着するとトラクタ・作業機・ジョイントを破損する原因になります。

もし破損しても保証の対象にはなりません。

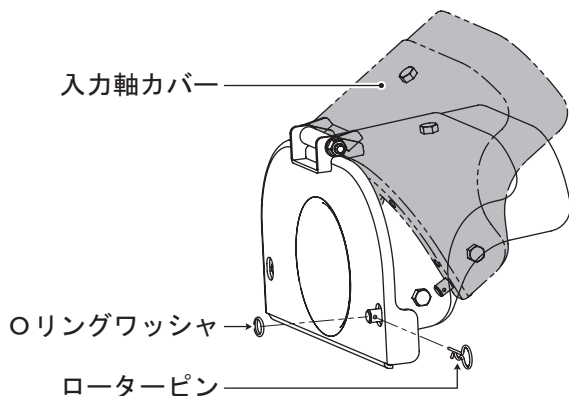
- ・ ジョイントを取付ける前に、必ず入力軸の入力軸キャップを取外してください。

作業機・ジョイントを破損する原因になります。



注 記

- ・ ジョイントは、入力軸カバーを外さなくても取付け・取外しができます。
右側1箇所のローターピンを抜き、入力軸カバーを上向きにしてください。
- ・ ジョイントを取付けた後は、入力軸カバーを元に戻してください。

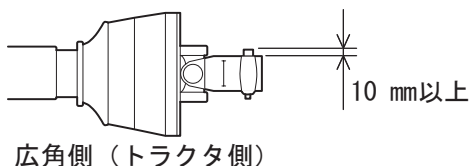


1 トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を操作し、トラクタのPTO軸と後装作業機の入力軸を同じ高さにします。

2 トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

3 ジョイントの広角側（インナー側）を、ロックピンを押しながらトラクタ側（PTO軸）にはめ込み、取付けます。

- ・ 取付け後、ロックピンの頭が10 mm以上出ていることを確認してください。
- ・ ロックピンが軸溝に正確にはまっていることを確認してください。



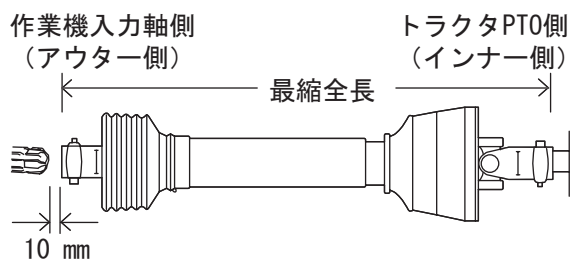
4

ジョイントをいっぱい縮め、ジョイントの先端と後装作業機の入力軸との間に10 mmほど隙間があれば、そのままロックピンを押しながらはめ込み、取付けます。

- ・ 取付け後、ロックピンの頭が10 mm以上出ていることを確認してください。
- ・ ロックピンが軸溝に正確にはまっていることを確認してください。

ジョイントの先端と入力軸との間に隙間がない場合は、長い分を切断します。

「6.2.1 切断方法」（27ページ）を参照してください。

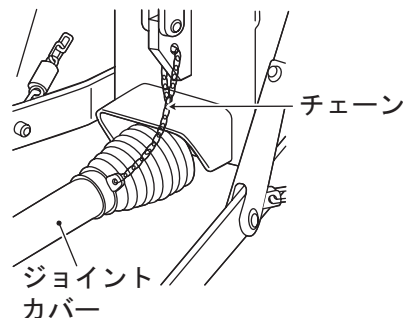


5

ジョイントカバーのチェーンを、トラクタの3点リンクが上下しても動かない場所につなぎます。

注 記

- ・ 3点リンクを上下しても引っ張られないようにたるみを持たせてください。





注 記

- ・ ジョイントの長さは、次表の範囲内で使用してください。
- ・ 最少ラップ（インナー、アウターの重なり）はCR-8で136mm、CR-9WSで495mm、CR-P500で500mm確保しています。

ジョイント型式	最縮全長 (mm)	使える長さ (mm)
CR-8	1314	1314~1754
CR-9WS	1461	1461~1971
CR-P500	1461	1461~1966

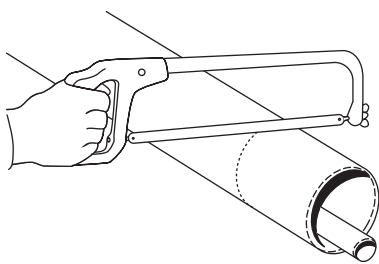
6.2.1 切断方法

⚠ 注意

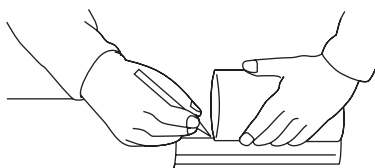
高速カッタを使用するときは、十分注意して作業を行ってください。

【守らないと】高速カッタは回転が速く、ケガをす
るおそれがあります。

- 1 ジョイントカバーを、長い分だけ切り取ります。（インナー側・アウター側両方を切り取ります。）

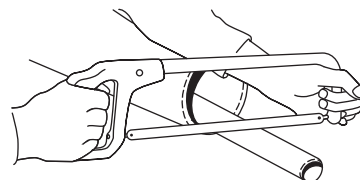


- 2 切り取ったジョイントカバーと同じ長さを、シャフトの先端から測ります。（インナー側・アウター側両方を、それぞれ切り取った長さで測ります。）



3

シャフトを高速カッタや金ノコで切断します。（インナー側・アウター側両方を、それぞれ測った長さで切断します。）



4

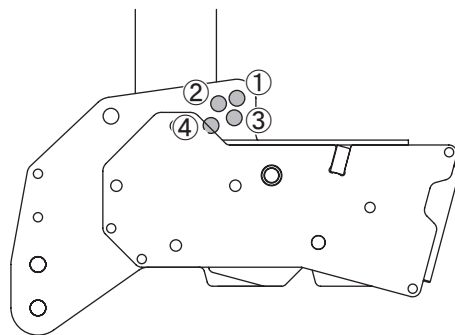
切り口をヤスリでなめらかに仕上げ、グリースを塗り、インナー側・アウター側を組合わ
せます。

6.3 下限規制の調整

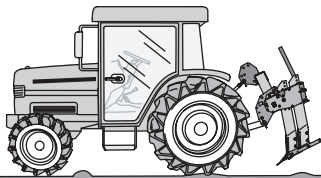
連結された後装作業機の上調整をすることにより、5 cm 間隔で4段階（NPS400-W、NPS400-WK、NPS600-Wは6段階）に後装作業機の耕深調整ができます。

下限規制ピンとカラーを任意の穴に取付けます。

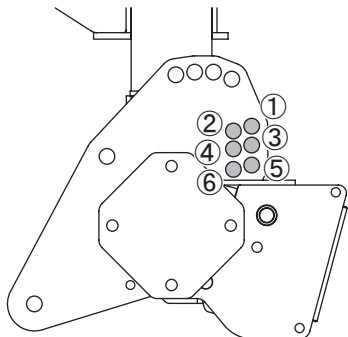
■NPS400, NPS400-K, NPS600, NPS600-K, NPS600-SF, NPS600-SFK



（浅い）① → ② → ③ → ④（深い）



■NPS400-W, NPS400-WK, NPS600-W



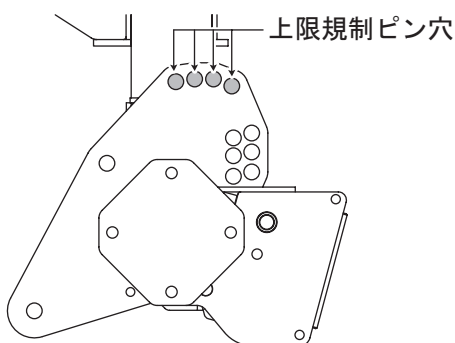
(浅い) ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ (深い)

注 記

- ・ 下限規制の調整後、後装作業機をトップリンクで水平にしてください。
後装作業機を回転させずにナイフを地面に差し込むと、下限規制ピンが抜けやすくなります。

6.4 上限規制の調整 (W 仕様のみ)

連結された後装作業機の持ち上がりすぎを防止するため、上限規制ピンを取付けてください。



上限規制ピンを、ローアームが上限規制ピンに当たったときに、ジョイントがフレームに当たらない位置に取付けます。

7 移動・ほ場への出入りと作業

7.1 移動のしかた

⚠ 警告

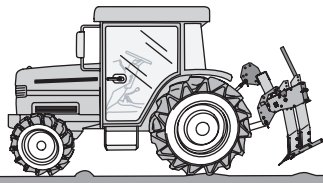
- 急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしないでください。
- 運転者以外の人や物をトラクタや作業機に乗せて運ばないでください。
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- トラクタに作業機が付いていると、後ろが長く、横幅が広がります。周囲の人や物に注意して走行してください。
- あげ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用して、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。長さの目安はあげや段差の4倍です。
- 急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなります。前輪荷重が全重の25%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。(適正な前輪荷重は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪荷重となるようにしてください。)
- 両側に溝や傾斜のある農道を通るときは、特に路肩に注意してください。軟弱な路肩、草の茂ったところは通らないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

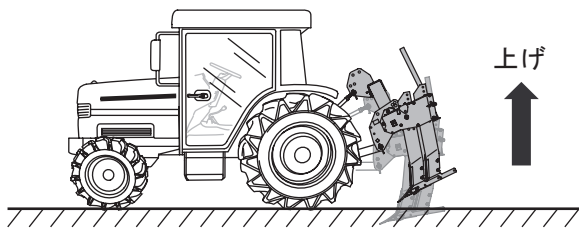
トラクタで公道を走行するときは、必ず作業機を取外してください。

【守らないと】道路運送車両法違反となるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。



1

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を上げ、作業機を最上げ位置にします。

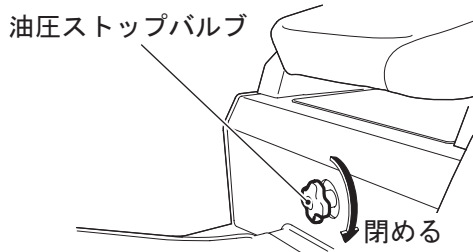


2

油圧ストップバルブを完全に閉めます。

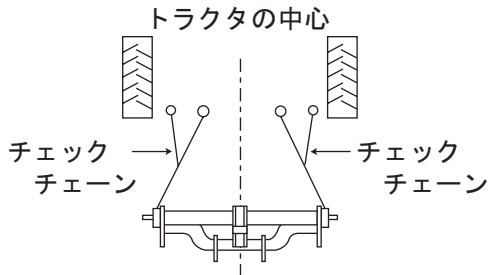
注 記

- ・ 作業機が下がらないようにしてください。



3

作業機が左右に振れないように、チェックチェーンを張り、ロックナットを締めます。



4

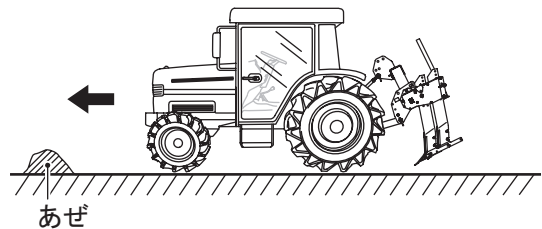
トラクタをゆっくりと移動させます。

7.2 ほ場への出入り

警告

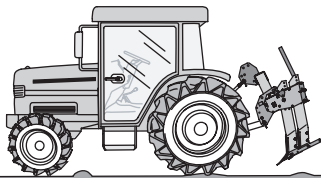
- 急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしないでください。
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用して、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。長さの目安はあぜや段差の4倍です。
- 急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなります。前輪荷重が全重の25%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。（適正な前輪荷重は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪荷重となるようにしてください。）
- ほ場への出入りは、必ずあぜと直角に行ってください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

ほ場への出入りはあぜと直角に、ゆっくり前進で行います。



注 記

- ・ 急な上り坂の場合には、後進でほ場に入り、前進でほ場から出てください。
- ・ 作業機の地上高が不足する場合は、マストの位置を調整し、地上高を確保してください。（「5.6 地上高が不足する場合」(23 ページ)を参照してください。）



7.3 作業のしかた

⚠ 警告

- 急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしないでください。
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機やトラクタに巻き付いた茎や草、雑物を取除くときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- 作業機を調整するときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- 作業機は、絶対に素手で触れたり、足で踏らないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

使用中、異常が発生したら、すぐにエンジンを停止し、点検を行ってください。

【守らないと】傷害事故や他の部分へ損傷がひろがるおそれがあります。

あぜに作業機をぶつけないように、低速で余裕をもって運転してください。

【守らないと】傷害事故や作業機の損傷につながるおそれがあります。

作業中や作業後は、草やゴミを路上に落とさないでください。

【守らないと】道路交通法違反になるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。

次の方法は、一般的に行われている往復耕起の標準耕法です。ほ場条件に合った方法で使用してください。

- (1) 作業区画を大きくとり、耕起の長辺を長くして作業能率の向上を図ります。
- (2) 傾斜地では多雨のとき、過排水の影響で土の流出を防ぐために、等高線上に施行します。
- (3) ほ場の固さ（軟らかさ）でトラクタの作業速度は変化します。
トラクタの車輪がスリップする場合は、作業速度を遅くします。
- (4) 排水や、土の流出を考慮して作業を行います。



8 取外しについて

⚠ 警告

- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。
- 平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を取外すときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

作業機のスタンドを、ストッパーピン穴の位置にあわせて、所定の高さに調整してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故、作業機の損傷をまねくおそれがあります。

⚠ 注意

トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】取外しができなかつたり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

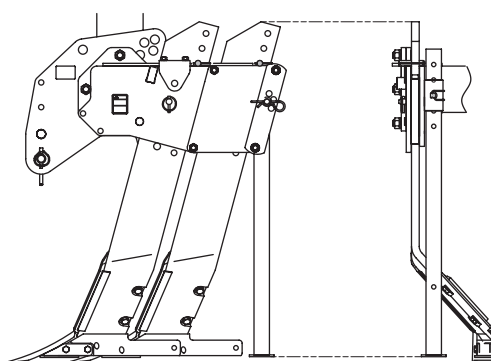
1

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

2

作業機のスタンドの穴を、ストッパーピン穴と同じ位置にあわせませす。

<例>上から3番目の穴



ストッパーピン穴位置 スタンドの穴位置

注 記

- ・ ナイフのストッパーピン穴とスタンドの穴の上下位置は対応しています。

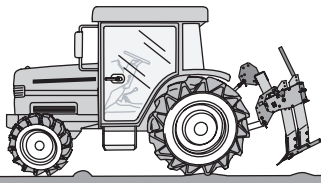
3

トラクタのエンジンをかけます。

4

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を下げて、作業機をゆっくり地面まで下げます。



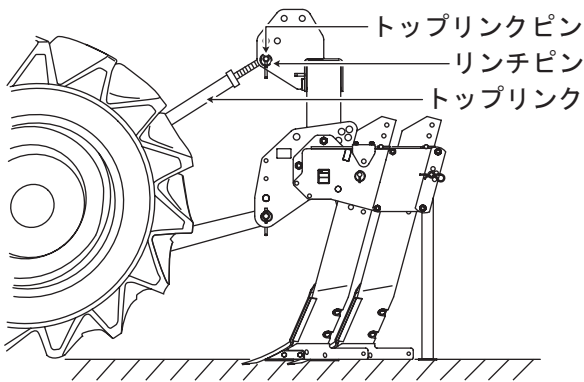


5

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

6

リンチピンを抜いてトップリンクピンを取外し、トラクタのトップリンクを作業機から取外します。



注 記

- ・ 外れないときは、トップリンクの長さを調節してください。

7

トラクタの右ロワーリンクを、右ロワーアームから取外します。

8

トラクタの左ロワーリンクを、左ロワーアームから取外します。

9

トラクタのエンジンをかけ、トラクタをゆっくり前進させます。

9 保守・点検

長くお使いいただくためには、日常の保守管理が大切です。

⚠ 警告

- 交通の邪魔にならない場所で行ってください。
- 作業機が動いたり、倒れたりしない平らで固い場所で行ってください。
- トラクタの車輪には車止めをしてください。
- トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。
また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- 作業機が下がるのを防止するため、トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。
- 変形、破損等の異常を見つけたら、速やかに修理をしてください。

【守らないと】 死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

保守・点検・調整で取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】 機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

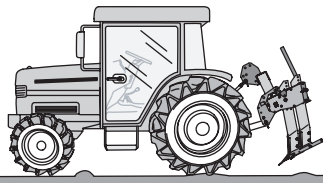
⚠ 注意

点検・整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。

【守らないと】 整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

厚手の手袋を着用し、手を保護してください。

【守らないと】 傷害事故につながるおそれがあります。



環境

- ・ オイルを排出するときは、必ず容器に受けてください。地面へのたれ流しや川への廃棄は絶対にしないでください。

使用済みのオイルをむやみに捨てると環境汚染になります。

- ・ 廃油、各種ゴム部品、消耗品等を捨てるときは、お買い上げいただいた購入先にご相談ください。むやみに捨てると環境汚染になります。

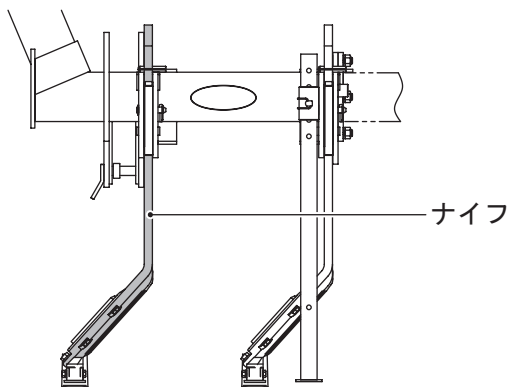
9.1 ボルト・ナットのゆるみ点検

使用時ごとに各部のボルト・ナットを増締めしてください。新品の場合は、使用開始から2時間後に必ず増締めしてください。

9.2 消耗部品の交換

9.2.1 ナイフ

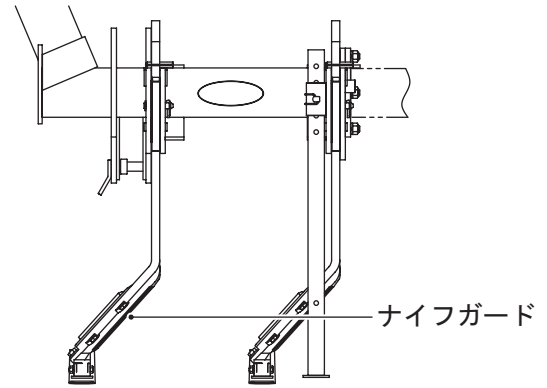
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
ナイフ L	P484 102000	2	3
ナイフ R	P484 103000	2	3

9.2.2 ナイフガード

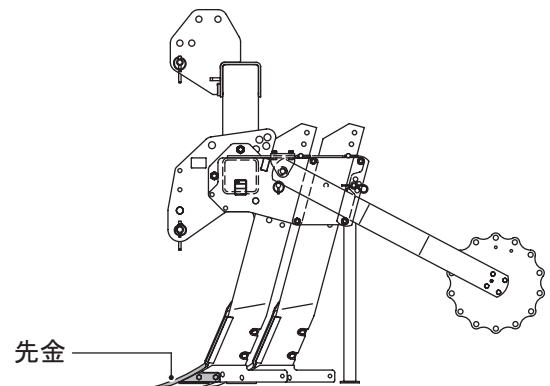
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



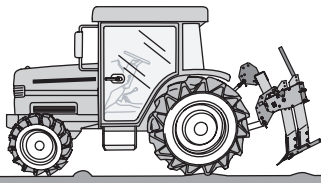
品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
ナイフガード L	P484 134000	2	3
ナイフガード R	P484 135000	2	3

9.2.3 先金

先端部裏側の特殊溶着加工部品がスリ減って無くなったら、新しいものと交換してください。

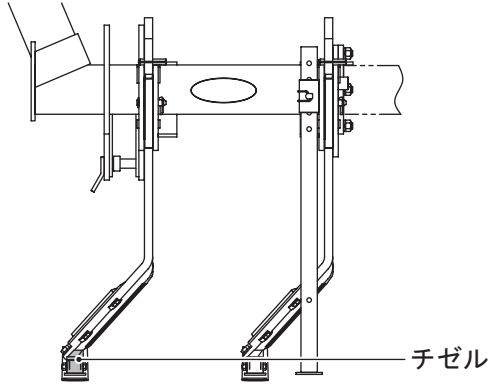


品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
先金	P484 106001	4	6



9.2.4 チゼル

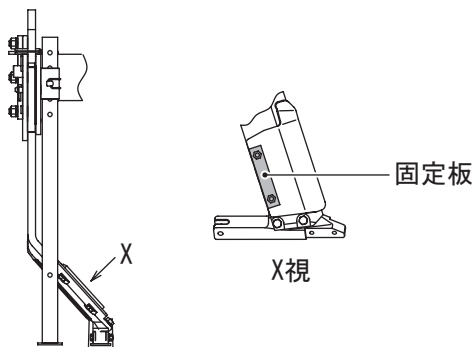
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
チゼルL	P484 104001	2	3
チゼルR	P484 105001	2	3

9.2.5 固定板

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
固定板	P484 136000	4	6

9.2.6 翼固定板 (オプション)

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。

品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
翼固定板	P484 109000	4	6

9.2.7 フラップ (オプション)

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。

品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
フラップ	P484 110000	4	6

9.2.8 リフター (オプション)

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。

品名	品番	数量	
		NPS400 シリーズ	NPS600 シリーズ
リフター	P484 111000	4	6



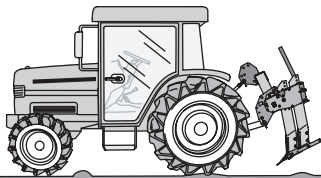
10 格納について

⚠ 警告

- 雨や風があたりず、平らで固い場所を選んでください。
- 必ず作業機のスタンドを所定の高さに調整し、転倒を防止してください。
【守らないと】作業機の転倒等により、傷害事故や作業機の損傷につながります。

格納する前に下記の作業を行ってください。

- (1) 作業機はきれいに清掃してください。
- (2) 格納はできる限り屋内にしてください。



11 保証とサービスについて

11.1 保証について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられるときに必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

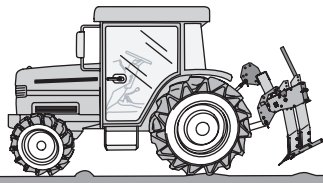
11.2 アフターサービスについて

作業機の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し点検してください。
点検・整備をしても不具合がある場合は、お買い上げいただいた購入先へご連絡ください。

● 型式名と製造番号	ネームプレートを見てください(11 ページを参照)
● ご使用状況	・ 水田ですか？ 畑ですか？ ・ ほ場の条件は石が多いですか？ 強粘土ですか？ ・ トラクタの型式は？ ・ トラクタの速度は？
● どのくらい使用されましたか？	・ 約□□アール または□□時間
● 不具合が発生したときの状況をなるべく、くわしく教えてください。	

11.3 補修部品と供給年限について

- 補修部品は、純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や性能に影響する場合があります。
- この作業機の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期等ご相談させていただく場合があります。



12 用語と解説

アタッチメント

作業機に後付けする製品

オートヒッチ、カプラ

トラクタに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

耕深

耕起、耕うんする深さ

コネクター

コードとコードをつなぐ接続口

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

ターンバックル

ねじ機構により胴部を回転させて両端の長さを調整できる装置

チェックチェーン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

ドラフトコントロール

作業機に加わる土壌抵抗を利用することにより、一定以上の抵抗になると自動的に油圧を作動させ、車輪のスリップを防ぎ、安定したけん引作業をすることができる装置

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロワーリンクと連結しているアーム

ロワーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンク

<http://www.niplo.co.jp>

Niplo 松山株式会社

- 本社 〒386-0497
長野県上田市塩川5155
Tel.(0268)42-7500
Fax.(0268)42-7556
- 物流センター 〒386-0497
長野県上田市塩川2949
Tel.(0268)36-4111
Fax.(0268)36-3335
- 北海道営業所 〒068-0111
北海道岩見沢市栗沢町由良194-5
Tel.(0126)45-4000
Fax.(0126)45-4516
- 旭川出張所 〒079-8451
北海道旭川市永山北1条8丁目32
Tel.(0166)46-2505
Fax.(0166)46-2501
- 帯広出張所 〒082-0004
北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10
Tel.(0155)62-5370
Fax.(0155)62-5373
- 東北営業所 〒989-6228
宮城県大崎市古川清水3丁目石田24番11
Tel.(0229)26-5651
Fax.(0229)26-5655
- 関東営業所 〒329-4411
栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3
Tel.(0282)45-1226
Fax.(0282)44-0050
- 長野営業所 〒386-0497
長野県上田市塩川2949
Tel.(0268)35-0323
Fax.(0268)36-4787
- 岡山営業所 〒708-1104
岡山県津山市綾部1764-2
Tel.(0868)29-1180
Fax.(0868)29-1325
- 九州営業所 〒869-0416
熊本県宇土市松山町1134-10
Tel.(0964)24-5777
Fax.(0964)22-6775
- 南九州出張所 〒885-0074
宮崎県都城市甲斐元町3389-1
Tel.(0986)24-6412
Fax.(0986)25-7044

